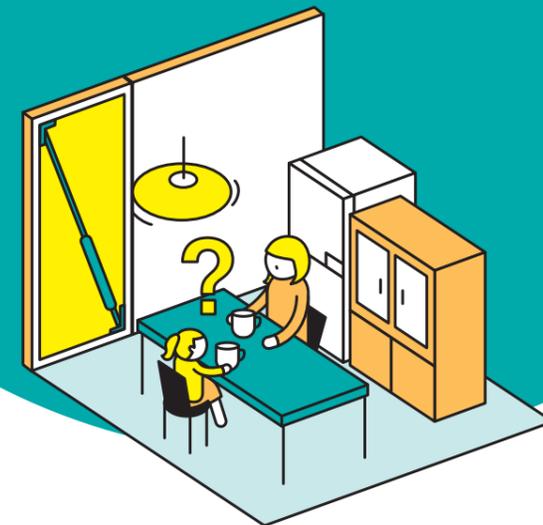


過去20年に起きた地震
その内 **震度1~5** **90%以上**



evoltzはあなたの

Quality of Life

を守ります



木造住宅用制振装置

evoltz × BILSTEIN
Innovative collaboration with a global part maker

evoltz B5

地震のエネルギーを吸収して、耐震工法をアシスト。
耐震性能を守り、建物をより長持ちさせます。



製品名：evoltzB5
全 長：2,200mm
外 径：50φ
重 量：5.0kg

株式会社 evoltz

■本社/東海支店
〒433-8118 静岡県浜松市中区高丘西二丁目3番6号
TEL.053-522-7766 FAX.053-522-7866

■東日本支店
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号鉄鋼ビルディング4F
TEL.03-6870-7763

■西日本支店
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田二丁目6番20号パシフィックマークス西梅田4F
TEL.06-7713-2553 URL: <https://www.evoltz.com/>

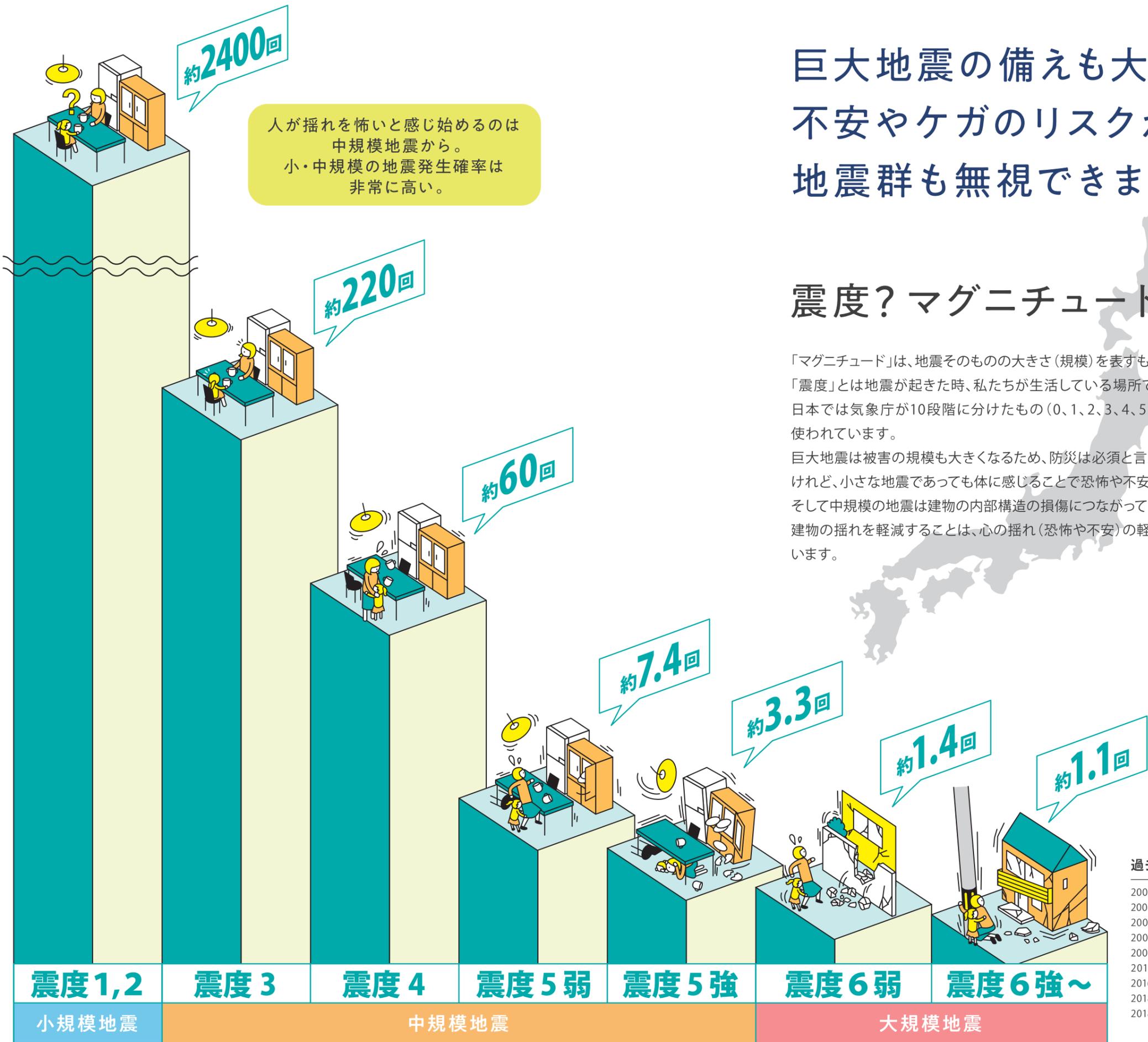
evoltzの効果が
よく分かる！



動画をチェック!!

evoltz

1年間に発生した地震の平均回数※

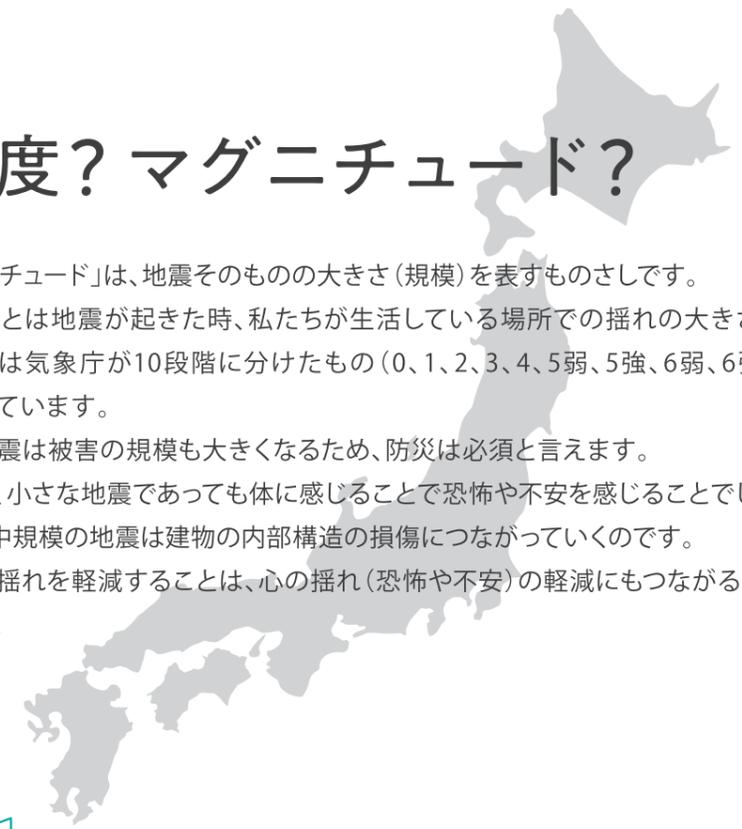


人が揺れを怖いと感じ始めるのは中規模地震から。
小・中規模の地震発生確率は非常に高い。

巨大地震の備えも大切ですが不安やケガのリスクが高まる地震群も無視できません。

震度？ マグニチュード？

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ（規模）を表すものさしです。「震度」とは地震が起きた時、私たちが生活している場所での揺れの大きさを表し、日本では気象庁が10段階に分けたもの（0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7）が使われています。巨大地震は被害の規模も大きくなるため、防災は必須と言えます。けれど、小さな地震であっても体を感じることで恐怖や不安を感じることでしょう。そして中規模の地震は建物の内部構造の損傷につながっていくのです。建物の揺れを軽減することは、心の揺れ（恐怖や不安）の軽減にもつながると考えています。



過去20年間に起きた大地震

- 2003年 十勝沖地震（震度6弱）
- 2004年 新潟県中越地震（震度7）
- 2007年 能登半島地震（震度6強）
- 2007年 新潟県中越沖地震（震度6強）
- 2008年 岩手・宮城内陸地震（震度6強）
- 2011年 東北地方太平洋沖地震（震度7）
- 2016年 熊本地震（震度7）
- 2018年 大阪府北部地震（震度6）
- 2018年 北海道胆振東部地震（震度7）

出展：気象庁

「Quality of Life」は evoltzで守られる。

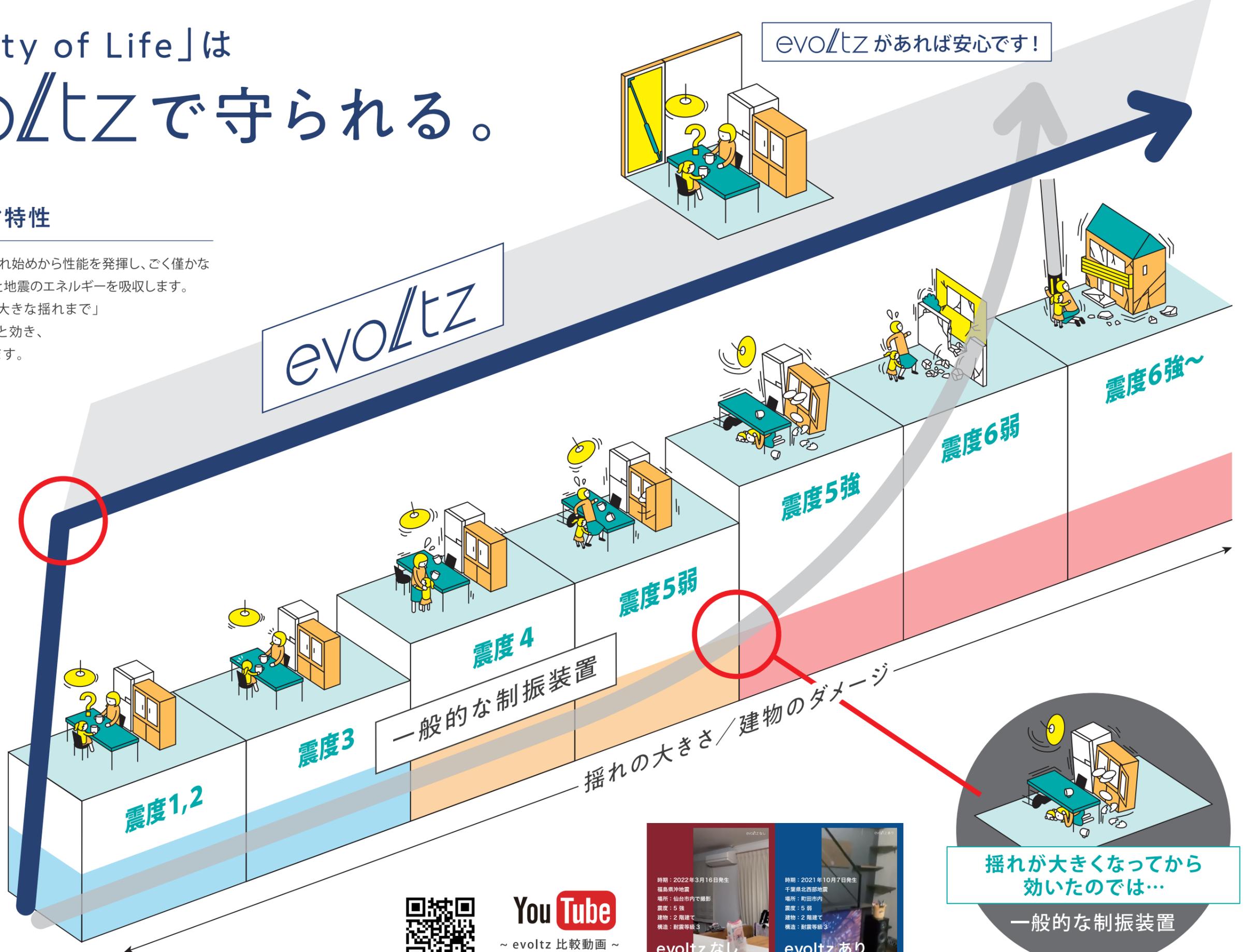
evoltzがあれば安心です！

バイリニア特性

evoltzは地震の揺れ始めから性能を発揮し、ごく僅かな揺れでもしっかりと地震のエネルギーを吸収します。
「小さな揺れから大きな揺れまで」
満遍なくしっかりと効き、
住宅を守り続けます。

evoltz

揺れを止めようとする力
(減衰力)



一般的な制振装置

揺れの大きさ / 建物のダメージ

揺れが大きくなってから効いたのでは…
一般的な制振装置



You Tube
~ evoltz 比較動画 ~
地震発生時のお施主様宅



壁の内部で進む破壊とは？

地震対策において最も重要なのは「耐震工法」。
しかし耐震だけでは補えない技術もあります。

耐震工法は構造を固め、変形しにくいように柱や梁の強度を高め建物をがっちり固めます。
建物の耐震性は「耐震等級」であらわされ最高等級3は等級1の1.5倍の耐震性能(壁量)を確保します。
しかし、固く強い耐震性が高い建物ほど地震の衝撃が大きく内部に伝わります。
その結果、壁や柱などの構造部材が損傷したり、家具が倒れたりしてしまいます。
だからこそ、「evoltz」が必要になるのです。



「耐震」をアシストする技術

evoltzは家を支える
5,000本の釘を
守っているよ。

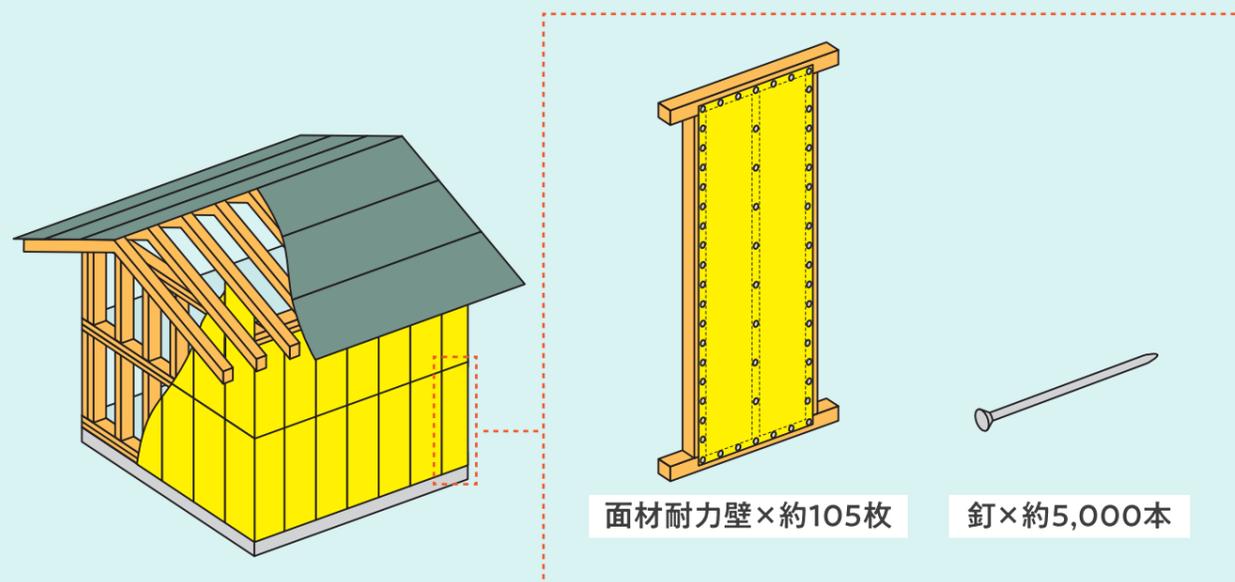
小さな
揺れから
速く効く！



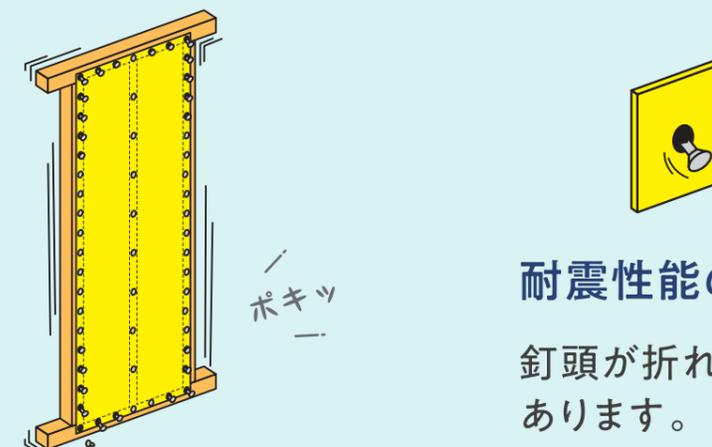
耐震工法 + 制振装置 evoltz

【家を支える部材】 1棟の住宅に使用されている耐力壁と釘。

大地震や繰り返しの余震により、壁の中はダメージを受けています。



地震が
起こると…



※延床面積30坪、総2階の住宅に使用されている数量を弊社にて試算

You Tube

比較実験の様子

